

橋下大阪市長様

はじめまして、『おおさか自転車マップづくりの会』の川内義行と申します。

当会は自転車ユーザー目線によるオリジナルの地図づくりを通じて、自転車に関する啓発や環境改善を目指して活動しているグループです。この度は、市長が自転車と歩行者を分離すべく自転車レーンの増設を指示したとの報道に接し、取り急ぎ支持を表明したく一文を草した次第です。

ご存知かもしれませんが、日本は世界でも抜きん出た自転車利用大国の一つで、中でも大阪は保有率など全国でも一、二を争う利用の盛んな土地です。しかしながら、自転車がさまざまな課題を引き起こしていることもよく承知するところです。

当会では、自転車の本来の走行部分は車道であってできる限り車道を走行すること、またそのために知っておきたいルールと実際の困難について、自転車マップや、時折催行する自転車ツアーなどで訴えています。

日本では永い間、自転車を極力歩道へ誘導しつつ、走行空間整備を殆どしてこなかった結果、自転車は歩道を走るもので、車道を走るのは危険だという意識を定着させました。自転車の歩行者との混在がさまざまな問題を生んでいるのですが、定着した通念の壁は簡単には崩れません。

例えば自転車の関連する事故では、直進部よりも格段に交差点部において、歩道から出てきたり、車道を逆走（道路の右端を走行）したりしていた自転車との間で発生していることが、明らかにされています。

本来は車両である自転車は、できる限り車道において車との共存を模索すべきものと考えます。

そこへ、昨年10月に警察庁の出した通達「良好な自転車交通秩序の実現のための総合対策」は、これまでの施策の転換を促す画期的な内容のもので、私たちも大いに注目し、ついでには、大阪においても新しい方針に沿った行政の動きについて注目していたところでした。

整備推進には困難を予想しますが、市長のこれまでにない発想で現実に向かう姿勢と実行力に大いに期待する次第です。

当会としても引き続き注視しつつ、また小人数の団体ではありますが、もしできることがありましたら極力協力する意向です。

自転車にとっても歩行者にとっても安全で快適な環境実現のため、また過度のクルマ依存の見直しのためにも、自転車走行空間の整備へのご尽力に期待いたします！

おおさか自転車マップづくりの会一同
<http://www.occn.zaq.ne.jp/cycle-map/>